NPO 法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 54 号] 平成 29 年 9 月 11 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16□電話　048-931-3844

綾瀬川支流出羽堀クリー大作戦

出羽堀から一里塚を望む

9 月 9 日(土)、久しぶりの秋晴。越谷市蒲生一里塚付近の綾瀬川支流出羽堀の清掃を古田、松下、中村、井坂、スタインソン・ベン、田中照郎・按志、中島の 8 名で実施しました。慶長年間に開削された約 4ｋｍの綾瀬川に合流する用水堀。繁茂する水草にからまった多くの浮遊ゴミを回収しました。45ℓビニール袋で 11 袋分を回収しました。大変お疲れ様でした。

初参加の小学生もゴミ拾い

9 月 10 日(日)、定例会に 12 名が参加。初参加の金井君、下山君もカヌー操船技術をマスターして草加松原北端風間船着場まで、浮遊ゴミ回収のお手伝いをしてくれました。ビニール袋 3 袋分の回収成果でした。

第 10 回綾瀬川再生流域会議

9 月 8 日(金)、さいたま共済会館 502 会議室で、第 10 回綾瀬川再生流域会議が開催され、中島事務局長、井坂広報委員長が参加しました。埼玉県水環境課田中課長の挨拶、参加者自己紹介の後、議事①県から「BOD 環境基準値達成 100％、綾瀬川の水質 2mg/l」の報告がありました。草加市環境推進協議会菅氏から、古綾瀬川合流付近は、実際にはそんなに水質改善されていないという意見が出されました。測定場所、時期、方法に対して疑義がだされました。アユが棲める水質の 3mg/l からはほど遠いことを草加パドラーズの日常活動でも感じている所です。中島事務局長からも、「①家庭排水の規制強化、②**透視度 1m を目指す**、③利根川・荒川導水の促進、④ゴミ拾い活動や親子カヌー教室で利用できる船着場の設置」を提案してきました。今回、埼玉県、上尾市、川口市、越谷市、さいたま市、草加市(門井氏)の行政担当者、環境活動団体代表者 40 名が一堂に会した有意義な流域会議でした。平成 23 年に「綾瀬川ルネッサンス活動の復活宣言」の後、少し関係行政が気を緩めてきた感じがします。実質的な清流を取り戻すまで、今後さらに連携を深めていくことの重要性を感じました。

《1m の透視度を目指す》昭和 30 年頃の透視度!!

昭和 30 年頃まで、近隣の子どもたちは綾瀬川でシジミやカタツケを採ったり、夏にはよく泳いだものでした。肩まで浸かって自分の足先が良く見えたということは、透視度が 1m 以上だったということです。綾瀬川を再生するということは、清流を取り戻すということですね。

中型の和舟、完成間近！

「中根和舟の会」が、櫓こぎ練習艇として制作していた中型和舟がほぼ完成してきました。

9 月 9 日(土)、私たちが、ゴミ拾い活動を終えて、制作現場を覗かせていただくと、外形は完成し、防腐剤塗料を塗り終えた段階でした。お聞きするところでは、11 月 3 日の「草加ふささら祭り」あたりに進水式をやりたいと考えているというお答えでした。今から楽しみにしています。関係者の皆さん、大変ご苦労様でした。